

GLORY

環境報告書 2008

GLORY

We Secure the Future

思いをかなえる 技術で見つめる 確かな未来



グローリー株式会社

私たちグローリーは、 地球環境と事業活動との調和を目指して、 環境保全への取組みを 自主的かつ積極的に推進しております。



当社は、2008年に創業90周年を迎えました。これまで積み重ねてきた歴史の上に、新たなグローリーを実現するため、“GLORYを世界のトップブランドに！”を経営ビジョンにグループ一丸となって取り組んでおります。

また、将来にわたりステークホルダーのみなさまとの信頼関係を、より強固なものにして事業の発展を図るとともに、社会的責任を追求していくことも重要な経営課題として捉えております。中でも、環境への取組みは、社会の公器として不可欠な要素であり、グローバルにビジネスを展開する当社グループにおいても環境重視の経営を推し進めております。

企業に求められる環境保全の水準は、今後さらに高まると予想されますが、当社は企業理念・経営理念に基づいた企業行動指針を役員や社員の規範として実践していくとともに、2002年から導入した環境マネジメントシステムの浸透を積極的に推進し、企業価値向上に努めてまいります。

代表取締役社長 **西野 秀人**

2008年7月に行われた北海道洞爺湖サミットでは、ポスト京都議定書について協議され、2050年までの長期的な二酸化炭素削減目標を視野に入れた提言がなされました。

こうした状況を踏まえ、当社も有効な地球温暖化防止のために、2030年に製品の使用における二酸化炭素排出量を30%削減することを目指しております。

当社は、企業メッセージとして、“We Secure the Future”を掲げ、安心・確実な社会に技術で貢献しようと考えております。当社が理想とする社会は、環境の面からも安心・確実なものでなくてはなりません。

理想とする社会を実現するため、グローリーは、「グリーンファクトリー、グリーンオフィスの推進」と「環境に配慮した製品の提供」の2つを軸に、環境保全活動に取り組み、さらなる社会の発展に貢献してまいります。

取締役執行役員副社長
環境マネジメント担当 **牛尾 允俊**

環境方針

グローリーは、環境保全を経営上の重要な施策の一つとしております。事業活動のあらゆる局面で環境への負荷を減らしていくため、環境マネジメントシステムを導入し、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、化学物質の適正管理から環境配慮型製品の開発まで幅広く取り組んでおります。

グローリーグループ環境方針

私たちは地球にやさしい行動と環境に配慮した製品の提供に全員で取り組みます。

グローリーグループ(以下当グループ)は、貨幣処理機器、自動販売機、情報通信機器などの開発、生産、販売、保守及び物流を行っていることを踏まえ、環境保全活動を行います。

- 1.当グループの事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境汚染の予防を推進する。
- 2.環境監査を実施し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- 3.当グループの環境側面に適用される法的要求事項、及び当グループが同意するその他の要求事項を順守する。
- 4.以下の項目を管理テーマとして取り組み、目的・目標を定め、定期的にレビューする。
 - ① グリーンファクトリー、グリーンオフィスの推進
 - ・省エネルギー、温暖化防止
 - ・省資源、リサイクル
 - ・化学物質の適正管理
 - ② 環境に配慮した製品の提供
 - ・製品の省エネルギー
 - ・グリーン調達
 - ・製品含有化学物質の削減
 - ・製品のリサイクル
- 5.社会の環境活動に協力するとともに、社員一人ひとりが環境保全活動を通じて社会貢献に努める。

取締役執行役員副社長
環境マネジメント担当 **牛尾 允俊**

環境マネジメントシステム（EMS）



当社は、2002年に本社・本社工場及び姫路物流センターにおいてISO 14001の認証を取得しました。現在、その対象を他の拠点や製造系グループ会社にも拡げ、グループでの統合認証に向け活動を推進しております。

2008年2月には、当社東京本部及び御着事業所、グローリー機器株式会社本社、佐用グローリー株式会社(現・播磨グローリー株式会社佐用工場)が認証を取得しました。今後は以下の拠点で、認証を取得する予定です。

EMS運用拠点		
認証取得サイト	2009年認証取得予定サイト	
姫路サイト 品川・埼玉サイト UDXサイト 御着サイト 佐用サイト	仙台支店サイト 高崎支店サイト 関東支店サイト 首都圏支店サイト 横浜支店サイト 名古屋支店サイト 北陸支店サイト	近畿支店サイト 広島支店サイト 四国支店サイト 福岡支店サイト 福岡サイト 加西サイト GEサイト

海外グループ会社での活動

現在、GLORY (Philippines) Inc.と光栄電子工業（蘇州）有限公司の2社がISO 14001を取得し、環境保全活動に取り組んでおります。

グローリーは、環境保全のために目標を定め、様々な活動を実施いたしました。
2007年度は省エネルギー・温暖化防止活動をはじめ、環境コンプライアンスの推進、
環境教育の実施など幅広いテーマに取り組み、全ての項目で目標を達成することがで
きました。

2007年度の目標・実績一覧

テーマ	目的	目標	実績
省エネルギー・温暖化防止活動	二酸化炭素排出量削減	2000年度比 12%削減(原単位)	14.3%削減(原単位)
省資源・リサイクル活動	廃棄物排出量削減	2000年度比 38%削減(原単位)	50.5%削減(原単位)
	再資源化率の向上	ゼロエミッション達成 1サイト以上 ※1	2サイト(姫路サイト、品川・埼玉サイト)
社会貢献活動	事業所周辺の清掃活動	4サイト以上	全5サイトにて実施
製品アセスメントの実施	環境に配慮した製品の開発	対象機種で全て実施	製品アセスメント対象機種に対して全て実施
製品含有化学物質規制への対応	海外法令の動向確認	該当法令について、情報収集	PFOS指令、REACH等の動向を継続確認
	RoHS指令等への対応	対象機種で全て実施	対象機種についてRoHS指令対応済み グリーン調達基準書を順守
環境コンプライアンスの推進	法令順守	法令順守に関するセミナー実施	廃棄物リスク管理セミナー実施(3回/年)
ISO14001認証範囲の拡大	環境マネジメントシステムの 推進	拡大サイトにおける認証取得	2008年2月の審査で3サイト拡大認証取得 (UDXサイト、御着サイト、佐用サイト)
環境教育の実施	規制や顧客要求に対する 理解向上	管理者向けレベルアップ研修 受講率 100%	経営層以下部門長対象 受講率 100%
		技術者向け基礎研修 受講率 100%	RoHS指令、製品アセスメント、 LCAについて研修 受講率 100%

※1 当社におけるゼロエミッションは、再資源化率99.5%以上と定義しております。

太陽光発電パネルの導入



当社は、二酸化炭素排出量を削減するため、2006年に本社組立工場の屋上に、太陽光発電パネルを設置しました。
このパネルの面積は424.7㎡でテニスコートの約1.6倍の大きさです。2007年度の発電量は二酸化炭素約36tに相当する約6.5万kWhで、その電力は本社内で使用いたしました。

ゼロエミッション

グローリーでは、事業所から排出される廃棄物のリサイクルに取り組んでおります。
特に生産系拠点では、再資源化率99.5%を「ゼロエミッション達成基準」と定め、廃棄物分別を軸に活動を展開しております。2006年度には、本社・本社工場及び姫路物流センター(姫路サイト)が、続く2007年度には、品川事業所及び埼玉工場(品川・埼玉サイト)がゼロエミッションを達成いたしました。
2008年度には、他の生産系拠点においてもゼロエミッションが達成できるよう、リサイクル活動を推進してまいります。

環境コンプライアンスの推進

近年、事業者に対して、廃棄物の処理に関する責任が強化される中、廃棄物処理をリスクと捉えて管理し、処理委託の実務を適正化することが重要視されています。
このような流れを受け、グローリーでは適正な処理委託を行うため、さまざまな取り組みを行っております。
2008年3月には社外より講師を招き、「廃棄物リスク管理セミナー」を開催しました。グループ各社より廃棄物の管理者や担当者が合計100名程度参加し、廃棄物処理法について理解を深めました。
また、2008年4月からは、処理委託に関する社内ルールを制定し、運用を開始いたしております。



地域清掃活動

ISO14001が運用されている拠点では、地域清掃活動を行っております。2007年度には、グループ会社を含めた6拠点で周辺の道路や公園、川原などの清掃活動を行い、延べ1,179名が参加しました。
例えば埼玉工場では、加須市の「快適かぞ市民活動」と連携して清掃活動を実施しました。回収された枯葉等は農地の肥料に活用され、焼却時の排熱は市の温浴施設に利用されています。
この活動は今後も継続し、2008年度にはさらに多くの拠点で実施する予定です。



製品への取組み

グローリーは、製品アセスメントやグリーン調達を行い、お客様に製品をご使用いただく際の環境負荷低減に努めています。

硬貨包装機 WM-521

- ◆指定金種をスピード包装できる高速・高性能の硬貨包装機です。
- 当社従来製品と比べ、包装に使用するポリエチレンフィルムの使用量を最大35%削減しました。



売上金入金機 DSS-300

- ◆店舗売上金の入金機です。
- 地球環境保全を目的とした厳しい環境基準をクリアしております。
- RoHS指令(※1)対応製品です。
- 当社従来製品と比べ、稼動時の消費電力を約10%削減しました。



紙幣硬貨入出金機 RH-100B

- ◆窓口用の小型入出金管理機です。
- RoHS指令(※1)対応製品です。
- 当社従来製品と比べ、稼動時の消費電力を約9%削減しました。



CRユニット JCP-30

- ◆パチンコホールで使用するCR機用のユニットです。
- 当社従来製品と比べ、消費電力を20%削減しました。

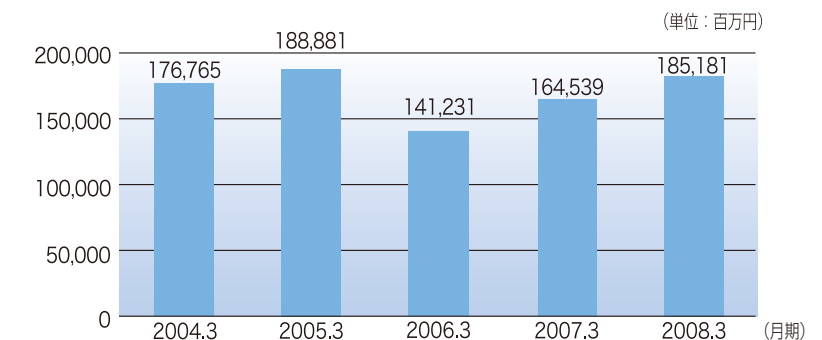


(※1)RoHS指令・・・電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関するEU指令

会社概要 (2008年3月31日現在)



商号	グローリー株式会社
創業	1918年(大正7年)3月
設立	1944年(昭和19年)11月
資本金	12,892,947,600円
従業員数	3,380名
本社所在地	兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号
事業内容	通貨処理機、情報処理機、自動販売機、カードシステム・サービス機器などの開発・製造・販売・メンテナンス
売上高(連結)	



報告内容について

対象組織	グローリー株式会社	本社・本社工場、東京本部、品川事業所、御着事業所、埼玉工場、姫路物流センター
	グローリー機器株式会社	本社
	播磨グローリー株式会社	佐用工場
	グローリーシステムクリエイト株式会社	本社、東京事業所
	グローリーフレンドリー株式会社	
対象期間	2007年4月～2008年3月	

お問合せ

グローリー株式会社 環境管理推進室
〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号
TEL(079)294-6242 FAX(079)297-3124
www.glory.co.jp